

## 2 一般会計の決算状況

平成27年度の一般会計決算は、表3のとおり、歳入決算額は、231億円で、前年度に比べ2億円(0.8%)減となりました。歳出決算額は、228億円で、前年度に比べ16億円(7.3%)増となりました。

収支の状況は、歳入歳出差引額が3億円、実質収支が1億円となりました。実質収支から前年度の実質収支を差引いた単年度収支は18億円のマイナスとなり、単年度収支に積立金や積立金取崩額等を加減した実質単年度収支では、13億円のマイナスとなりました。これら実質収支等の状況については、図1をご覧ください。

なお、一般会計決算の推移については、図2をご覧ください。

表3 一般会計決算収支状況

(単位：千円、%)

区 分		平成27年度 決算額 A	平成26年度 決算額 B	増 減 A - B	伸 び 率 (A-B)/B
歳入決算額	A	23,119,858	23,310,696	△ 190,838	△ 0.8
歳出決算額	B	22,812,079	21,259,461	1,552,618	7.3
歳入歳出差引額	C (A-B)	307,779	2,051,235	△ 1,743,456	△ 85.0
翌年度繰越財源	D	167,593	129,032	38,561	29.9
実質収支	E (C-D)	140,186	1,922,203	△ 1,782,017	△ 92.7
単年度収支	F (E-前年度E)	△ 1,782,017	308,054	△ 2,090,071	△ 678.5
積立金	G	983,096	811,959	171,137	21.1
繰上償還金	H	0	0	0	-
積立金取崩額	I	500,000	457,665	42,335	9.3
実質単年度収支	J (F+G+H-I)	△ 1,298,921	662,348	△ 1,961,269	△ 296.1

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

図1 実質収支等の状況（一般会計）

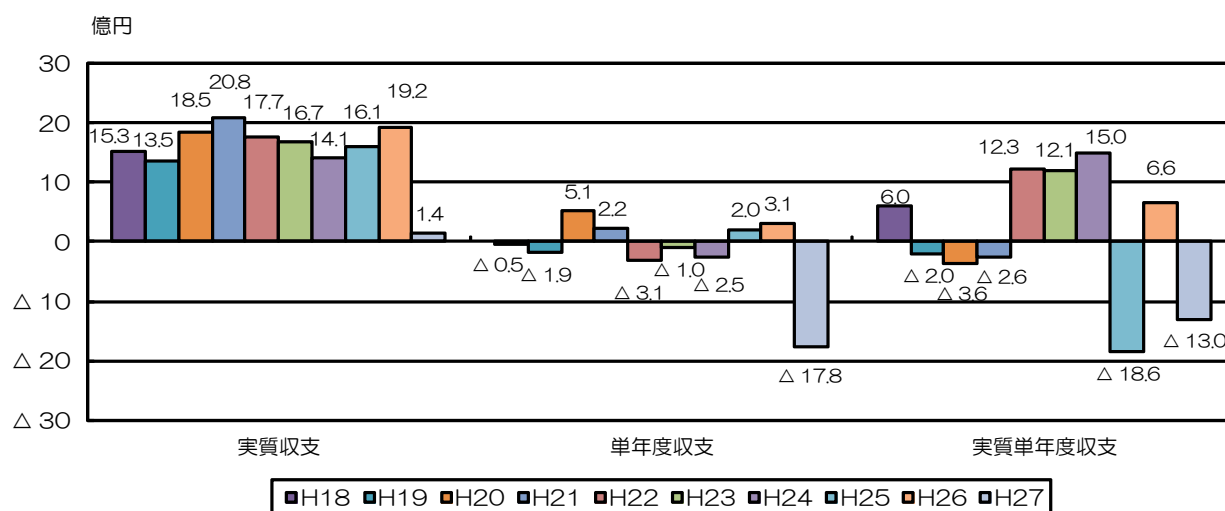
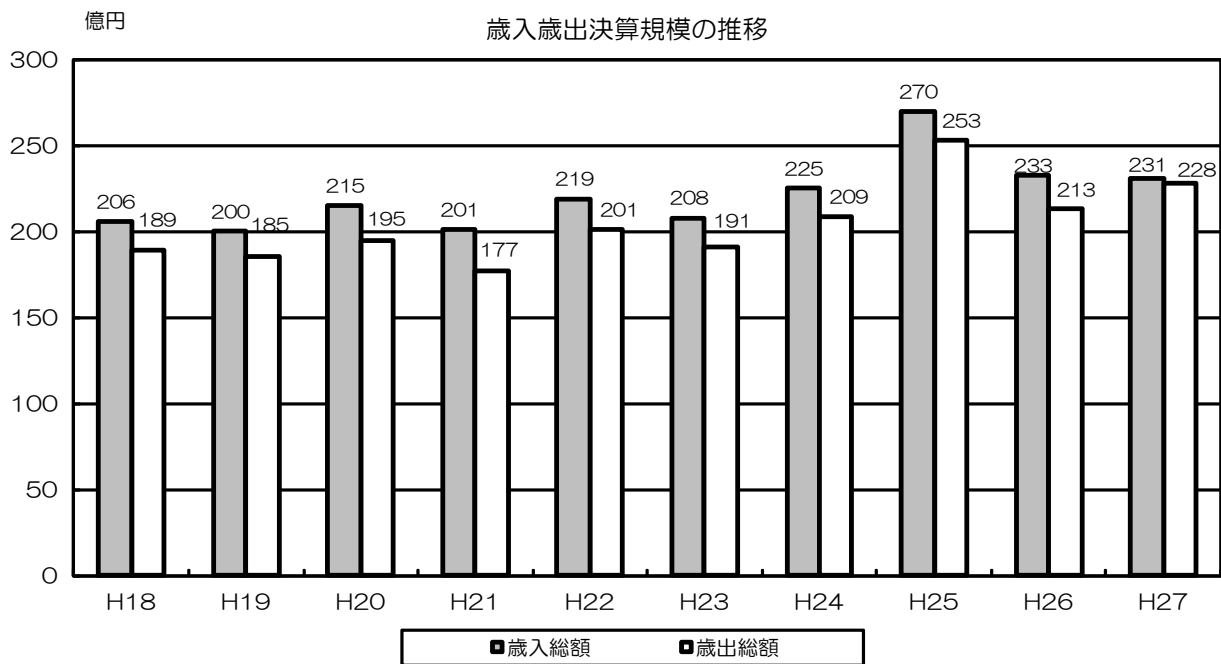


図2 一般会計決算の推移



実質収支・・・歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額から、翌年度へ繰り越す事業に充てるための財源を差し引いたもので、当該年度に属すべき収入と支出の差を示すものです。

単年度収支・・・実質収支は前年度以前からの収支の累計であることから、当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いたものです。

実質単年度収支・・・単年度収支には、実質的な黒字要素（基金への積立、繰上償還）や赤字要素（基金の取り崩し）が含まれているため、これらを控除した単年度収支が、実質的にどのような状態であったかを表したものです。